

2050 C K どんな未来に？ ZERO CARBON CITY KAGOSHIMA

ゼロカーボンで 2050年をC Kな未来へ

▶ CO₂排出量の削減に取り組む「ゼロカーボンシティかごしまパートナー」や市民と一緒に、未来への取り組みの輪が広がっています

パートナー企業の取り組み

快適で環境に優しい
生活をお手伝い

日本ガス(株)
課次長 味園 太樹 さん

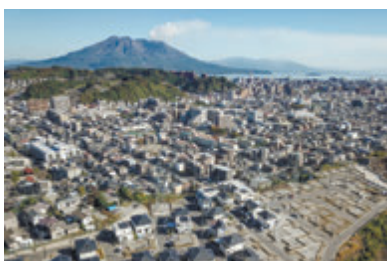


地域に密着した総合エネルギー企業として、環境性に優れた家庭用燃料電池や太陽光発電などの普及に取り組んでいます。

家庭用燃料電池は、ガスから取り出した水素と空気中の酸素で効率よく発電し、そのときに発生する熱も給湯などに利用できるので、高いCO₂削減効果を発揮します。また、停電時でも発電して電気やお湯が使えるので、もしものときにも安心と大変好評をいただいています。

快適性が高いことはもちろんですが、環境にも配慮した生活を大切にされる方も増えてきていると感じています。これからも快適で、環境に優しい生活の役に立てるようお手伝いしていきます。

「つかう」場所で「つくる」マイ
ホーム発電。毎日の暮らしの
中でCO₂を削減することが
できる



◀ 宅地分譲が進んでいる原良地区の造成団地では、燃料電池の普及率が7割を超えている(令和2年7月現在)

未来への家づくりに、再生可能エネルギーを 太陽光deゼロカーボン促進事業補助金

個人住宅への家庭用燃料電池や太陽光発電システムの設置などに対し助成します。対象や補助額、申請要件など詳しくは市HPか再生可能エネルギー推進課☎216-1479FAX216-1292へ。

市民の取り組み

みんなに広めたい
私達の当たり前

谷口 凜太郎 さん



コンビニで飲み物を買っていたとき、友人に「何でプラスチック使っているの？」と聞かれてはっとなり、それから毎日ステンレスのマイストローを持ち歩くようになりました。



始めたころは買い物のときに断るのも勇気が要りましたが、今では当たり前になっています。

◀ 移動もエコのためにいつも自転車。熊本まで行ったこともある

瀬利 勇飛 さん



大学進学で一人暮らしを始めたことをきっかけに、マイバッグを使うようにしました。バッグは小学校から持っているものをそのまま使っています。



▶ マイボトルを常に持ち歩き、外出時に飲み物は買わないようにしている。はがれたメッキがエコな取り組みの積み重ねの勲章だ

若者の力で行動の輪を広めよう

かごしまゼロカーボンラボ参加者募集

地球の今を学び、私たちにできることを考えるワークショップを通して、環境に関するイベントを企画し、CO₂削減に向けた行動を実践します。詳しくは市HPか環境政策課☎216-1296FAX216-1292へ。



エコカーを
選ぼう！

再生可能エネルギー推進課
島村 主任

走行中CO₂を排出しない電気自動車や燃料電池自動車などの購入、リースに対し助成します。詳しくは市HPか再生可能エネルギー推進課☎216-1479FAX216-1292へ。

次世代自動車等
普及促進事業補助金

車の移動も、エコにしよう



フェイスブック

インスタグラム



ツイッター

みんなのエコを
見てみよう

環境政策課
有村 主査



事業者や市民のエコな取り組み、かごしまゼロカーボンラボなどの最新情報を配信しています。

ゼロカーボンシティかごしま
SNSアカウント

みんなの取り組みを共有しよう